

## 岩手大学農学部植物生命科学科教員募集要項

本学科では、下記募集要項により教授もしくは准教授を募集します。  
選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせします。

### 記

#### 1. 職種・人員：教授もしくは准教授・1名

#### 2. 所属・担当学部等

農学部植物生命科学科に所属し、植物病理学分野を担当します。大学院は、岩手大学総合科学研究科農学専攻植物生命科学コースの所属となります。なお、次世代アグリイノベーション研究センター（AIC）兼務教員を担当いただきます。

#### 3. 担当教育研究専門分野：植物病理学分野

##### 主要担当科目

学 部：農学概論（分担）、植物生命科学演習Ⅰ・Ⅱ（分担）、卒業研究、植物ウイルス学、植物生命科学実験Ⅰ~Ⅳ（分担）

大学院（修士課程）：植物ウイルス病学特論、植物生命科学特別研究

大学院（博士課程）：生物生産科学特別研究

その他：全学共通教育科目・学部専門基礎科目の一部（分担）

#### 4. 応募資格

- (1) 博士（もしくはphD）の学位を有する者
- (2) 植物病理学分野において、優れた業績を有する者
- (3) 学部生及び大学院生に対する教育研究指導を熱心に行える者
- (4) 学部、学科および大学院、専攻組織の管理運営に積極的に参加・貢献できる者
- (5) 「次世代アグリイノベーション研究センター（AIC）」において「ウイルスベクターを利用した植物の機能開発に関する研究」を活発に展開するとともに技術普及を推進し、中心的な役割を担える者

#### 5. 任用予定日：令和3年4月1日以降のできるだけ早い時期

#### 6. 提出書類

- (1) 履歴書1通（写真データ、メールアドレスを記載のこと。なお、履歴書はワードファイルなどでの作成可）

- (2) 研究業績目録1部(別紙作成要領参照)
- (3) 主要論文の別刷り5編以内(コピー可)
- (4) これまでの研究概要および教育経験(2,000字程度)
- (5) 着任後の研究と教育に対する抱負(2,000字程度)
- (6) 照会可能な2名の氏名と連絡先(所属先, 役職名, 住所, 電話番号, e-mail)
- (7) (1)～(6)のワードもしくはエクセルファイルデータ(別刷りに限ってはpdfファイル)

7. 締切日: 令和3年1月4日(月)(必着, e-mailによる応募も認める)

8. 応募書類提出先および問い合わせ先

〒020-8550 盛岡市上田3-18-8

岩手大学農学部植物生命科学科 佐原 健

e-mail: sahara@iwate-u.ac.jp

(郵送による応募の場合には, 応募封筒に「植物生命科学科教員応募書類在中」と朱書きして, 簡易書留もしくはレターパックプラスでお送りください. e-mailによる応募の場合には, 必要事項が記載されたデータを添付して下さい. なお, 応募書類は返却致しません.)

9. 書類選考の後, 必要に応じて面接等を実施して最終選考を行います.(対面による面接の場合の交通費等経費は自己負担となります.)

10. その他

(1) 大学院教育において英語による講義を担当いただくことがあります.

(2) 大学院(博士課程)の教育については, 岩手大学大学院連合農学研究科の資格審査を経て担当いただきます.

(3) 岩手大学農学部のホームページURLは下記の通りです.

<http://www.agr.iwate-u.ac.jp/>

(4) 岩手大学は男女共同参画を推進しています. 業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には, 女性を優先的に採用します. 両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら(<https://www.iwate-u.ac.jp/gender/>)をご覧ください.

## 「研究業績目録」作成要領

研究業績は、A4判の用紙にA.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a) 学術雑誌\*<sup>1</sup>、(b)紀要\*<sup>2</sup>、(c)プロシーディングス、E. その他\*<sup>3</sup>、F. 報告書・事業報告書等\*<sup>4</sup>、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表\*<sup>5</sup>、I. 国内学会発表\*<sup>6</sup>、J. 受賞歴 (学会賞など)、K. 外部資金獲得状況 (科研費など) の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り返してください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35~40字で40行程度 (日本文の場合フォントのサイズは10.5~12程度) にしてください。

- \* 1 : 学会誌, 国際誌等を年代順に記載する.
- \* 2 : 試験場報告, 研究所報告等を含む.
- \* 3 : 商業雑誌, 資料等に記載する.
- \* 4 : 調査報告書, 科学研究費報告書, 事業報告書等に記載する.
- \* 5 : 最近5ヵ年について記載する. (教授選考の場合, I. 国内学会発表は不要)
- \* 6 : 著者名にアンダーラインを付ける. なお, 単著, 筆頭著者及びコレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションである場合は二重のアンダーラインを付ける. ただし論文にその記載がある場合に限る.
- \* 7 : 英文で著者名を記載する場合は, 下記のようにする.
  1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- \* 8 : 学名にはアンダーラインをつけるか, またはイタリックで記載する.
- \* 9 : 論文番号は全角, 英数字は半角にする. また, 巻数はボールド (太字) とする.
- \* 10 : Journal は略記する.
- \* 11 : 発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)  
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)  
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」 (大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)  
Agriculture in Japan, "Agricultural Sciences"(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

#### B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)  
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)  
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

#### C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)  
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)  
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

#### D. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)  
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)  
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)  
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

##### (b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)  
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

##### (c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)  
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告(△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

2. 岩手一郎 (2000)

◇◇◇ 特願 2000-123456 特開 2002-123456

H. 国際学会発表(最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表(最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.